

FIGHTERS 監督・選手のおすすめ本

平成28年7月 北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ

北海道日本ハムファイターズは、平成26年から読書促進全道キャンペーンを実施しています。

今回は、札幌ドームにおける主催試合の演出・装飾テーマ「FIGHTERS GALAXY BASEBALL」に関連し、栗山監督と選手たちが、宇宙にまつわる書籍、絵本を紹介してくれました。

80 栗山監督
NASAより宇宙に近い町工場
植松努



北海道赤平市にある町工場がロケット開発を成功させる実体験を通し、あきらめず夢を持ち続けることの大切さを訴えています。始めからできっこない、無理だと思うと前に進まずロマンもない。植松さんの発想をぜひ多くの方々に感じてもらえたらと思います。

11 大谷翔平
イーロン・マスクの野望 未来を変える天才経営者
竹内一正



人類の新しい環境になる火星への移住を企てる革命家イーロン・マスク氏の野望を描いた本です。宇宙ロケットの打ち上げなど宇宙輸送を事業とする会社を設立。民間事業として初めてロケットの打ち上げに成功します。人生に一度、宇宙に行ってみよう、という思いがさらに強まりました。

64 谷口雄也
瑠璃色の星
山崎直子



小学生の一時期、札幌にも暮らしていた宇宙飛行士の山崎直子さんが、2010年にスペースシャトルに搭乗した後に記した一冊です。瑠璃色の地球を見ながら宇宙で感じたこと、命の大切さ、夢を持って挑戦することの意味を伝えてくれています。

34 吉川光夫
下町ロケット
池井戸潤



ロケットの開発責任者が打ち上げ失敗の責任をとって辞職し、実家の町工場を継ぐことになって夢を追い続けるビジネス小説。挫折を重ねても己の信念に基づき突き進む社長と社員に心打たれ、次々に降りかかる難局を丸で乗り越えていくストーリーにぐっと引き込まれました。

6 中田翔
ほしのはなし
北野武



読み進めるごとに折りたたまれたページを開いていき、最後には大きな星空が床に広がる特徴的な絵本です。夜空を見上げながらおじいちゃんと少年の間でほのぼのとした会話が交わされ、大人が読んでも心に響くメッセージが込められています。

2 杉谷拳士
世界でいちばん素敵な夜空の教室
森山晋平



「天の川の正体は?」「星の色が微妙に違うのはなぜ?」宇宙に関する疑問を美しい星空の写真とともに解き明かしてくれるビジュアルブックです。星座や月にまつわる神話や伝説も多く紹介されているので、夜空を見上げながら読むのにお勧めの一冊です。

27 大野奨太
ほしにむすばれて
谷川俊太郎



星が大好きだったおじいちゃんの一生を、孫の少年が語っていきます。好きなものが何代にも受け継がれていくところに家族の強い絆を感じます。自分もよく夜空を見上げていたことを思い出しました。

3 田中賢介
12の星のものがたり
tupera tupera



自分の星座の物語は知っているようで知らないもの。12星座それぞれのギリシャ神話が鮮やかな色彩で描かれ、リズムカルな文章で紹介されています。読んだ後に親子で星座を探してみるのもいいのではないのでしょうか。

○その他の選手のおすすめの本

- 4 飯山裕志 **モマの火星探検記** (毛利衛)
- 9 中島卓也 **たとえば銀河がどら焼きだったら** (布施哲治)
- 16 有原航平 **月の歩きかた** (マイケル・アローヴィッツ)
- 25 宮西尚生 **とおい星からのおきゃくさま** (もいちくみこ/こみねゆら)
- 26 浅間大基 **夜空と星の物語** (森山晋平)
- 30 鎌谷陽平 **白河天体観測所** (藤井旭)
- 37 矢野謙次 **パパが宇宙を見せてくれた** (ウルフ・スタルク)
- 48 谷元圭介 **もしも暗闇がこわかったら 夜空に星をくわえましょう** (クーパー・エデンズ)
- 55 市川友也 **はじめてのうちゅうえほん** (てづかあけみ)
- 67 岸里亮佑 **銀河鉄道の夜** (宮沢賢治)



北海道と日本ハム株式会社は、家庭教育や子育て支援のため、包括連携協定を締結しています。